

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 0250-25-1300

年度	令和4年度		
組織名(部)	文化スポーツ課	組織名(準部・課・機関名)	新津美術館
組織の目的	市民の芸術に関する知識及び教養の向上並びに芸術文化の交流の推進に寄与します。		

作成日	R4.4.1
修正日	
評価日	R5.4.23

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1		展覧会や関連催事の充実を図り、優れた芸術に触れる機会を提供することにより、多くの市民から親しまれる美術館になることを目指します。	企画展、その他の展覧会、ミュージアムコンサート	美術館入館者数(人)	103,940	127,023	97,585	120,000	118,501	本年度企画展を考慮した目標値を設定	目標の達成率は98.75%	未達成
2		学校や地域等と連携し、子どもを含む市民が美術に触れる機会を充実させるなど、市民に親しまれる美術館づくりを進めます。	美術講座、ミュージアムコンサート、出前美術館、職場体験の受入等	普及事業の実施回数(回数)	23	19	32	30	36	持続可能な目標値を設定	着実な事業の進捗につとめ、目標を上回る回数を達成した。	達成
3		報道機関との協働により、お互いのノウハウを生かした魅力ある展覧会を開催し、収益を意識した運営を行います。	令和4年度企画展(実行委員会方式) ・ミニチュアライフ展2 ・山形美術館所蔵 長谷川コレクション展 ・田島征三展 ・黒井健展	実行委員会方式の企画展における決算の収支比率(%)	139%	168%	148%	130%	201%	本年度企画展予算(歳入22,500千円/歳出19,500千円)に基づく目標値	・ミニチュアライフ展2 378% ・山形美術館所蔵 長谷川コレクション展 69% ・田島征三展 53% ・黒井健展 133% ・R4年度計 201%	達成
4												
5												

取組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>新潟市新津美術館の運営方針に沿った取組みを展開します。</p> <p>「運営方針」 市民と連携しながら、愛され親しまれる美術館を目指します。</p> <p>美術館の持つ資源を活用して、市民に美術に対する新たな発見と感動の場を提供し、豊かな創造力を育む「何かが見つかる美術館」</p> <p>1 美術資料の収集・整理・保管を充実・強化するとともに、次世代に引き継ぐための活用・普及を実践する「明日へ向かう美術館」</p> <p>2 美術資料の収集・整理・保管を充実・強化するとともに、次世代に引き継ぐための活用・普及を実践する「明日へ向かう美術館」</p> <p>3 他施設との連携や来館者とのコミュニケーションを図り、市民の視点に立った取組みを実践する「みんなと歩む美術館」</p>	<p>入館者数は、春季のミニチュアライフ展の大量動員(開館以来の最高を記録)で年間目標の6割近くに達しましたが、夏季は新型コロナウイルス感染拡大と猛暑の影響もあって伸び悩みました。秋季の黒井健展は健闘したものの、終盤で大雪に見舞われたことも響いて、目標にはあと一歩届きませんでした(達成率は98.75%)。</p> <p>また、小中学校に作家を派遣する出前美術館の実施など、学校との連携を図りながら、次世代への普及活動に努めました。今後も、これまでの実績を踏まえた特徴的な展覧会に加え、調査・研究や情報収集を基にした新潟市の美術館としてふさわしい展覧会を企画していきます。</p> <p>広報面では、ホームページやフェイスブック、ツイッター、インスタグラムを活用した活動を充実させ、事業を広くアピールしていきます。</p> <p>なお、実行委員会方式の展覧会4本の収支比率は、目標を大きく上回る平均201%となりました。マスコミ各社との信頼関係は美術館経営上の重要事項であり、引き続きその構築と維持につとめてまいります。</p>